

意見交換会実施報告書

令和6年 9月 6日

赤穂市議会議長 様

総務文教委員会委員長 釣 昭彦

総務文教委員会は、下記により意見交換会を実施したので報告する。

記

| | |
|------------------|---|
| 開催日時 | 令和6年 8月21日(水) 19時00分 ~ 20時30分 |
| 開催場所 | 赤穂市役所 2階 204会議室 |
| 意見交換会テーマ | 赤穂市各小学校における PTA 活動の現状と課題について |
| 出席委員 | 代表者：釣 昭彦 前田 尚志 司会者：安田 哲 家入 時治 記録者：深町 直也 土遠 孝昌 |
| 相手方団体名 及び参加者数 | 赤穂市小学校 PTA 各小学校 PTA 会長・副会長 9名 |
| 主な意見等 | <p>〈赤穂小学校 PTA の任意加入について〉</p> <ul style="list-style-type: none">・赤穂小学校 PTA では任意加入となったことにより、半数近くの保護者が加入しなかった。任意ということを伝えたことにより加入しなくてもよいという考えが先行した。伝え方が足りなかった。・そもそも PTA は任意であるが、任意にしたとしても加入してくれると思っていた。・PTA の現役員と最近の保護者の方々に PTA に対する考えの差がある。・半減した会費で全生徒の活動費を支えなければならない。子どもたちを区別するわけにはいかない。 <p>〈PTA 活動の現状について〉</p> <ul style="list-style-type: none">・子どもたちを喜ばせたいと皆思っている。・役員をみんな暇だからやっているわけではない。・コロナ前にどのような活動をしていたかがわからない。・会議への出席や行事でのあいさつなど PTA 会長への負担が多いことから、PTA 加入が敬遠される理由になっている。 |

| | |
|----------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・私たちの代で PTA をなくしてしまうわけにはいかない。これまでの役員に申し訳ない。 ・PTA がなくなるとなかなか地元の方に協力してもらえない。 ・このままでは、できない活動がどんどん増えてしまう。 ・PTA 活動費が不足している。 <p>〈PTA 活動のスリム化について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生方にも PTA 活動に積極的に協力してほしいが、先生方も多忙で、働き方改革もあり、難しくなっているのが現状である。 ・塩屋小学校 PTA では、役員数の見直しを検討している。学級委員を廃止した。 ・御崎小学校 PTA では生徒数が 200 名を切っているが、300 名体制の活動を行っていたため、前会長が役員の見直しを行い、10 部門から 2 部門に減らした。 ・現状のままでは、PTA の活動がもたない。活動をスリム化していかなければならない。 <p>〈役員のみ手不足対策について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城西小学校 PTA を参考にして、御崎小学校 PTA では各地区から数名選出してもらい、その中から本部役員を選ぶという形を取っている。今後は輪番制にし、1 年以上は縛らないことにしている。 ・役員を強制することは良くない。 ・くじ引きで選ばれる場合もある。 ・じゃんけんで選んだこともある。 ・次期役員を探すのが困難である。 ・対象者を訪問し依頼に行っている状況である。 |
| 委員会のコメント | <ul style="list-style-type: none"> ・各小学校の PTA 会長が集まって意見交換する場を持ってほしい。 ・PTA のことについて本会議で質問を行った際、教育委員会より各学校と保護者との課題であるとの答弁だった。 ・PTA 会長に女性になり始めているのは良いことである。 ・PTA をなくすべきではないと思う。 |